

病 院 事 業 会 計

病院事業会計

1 業務実績

入院患者数は、延べ62,523人で、前年度に比較し645人（1.0%）減少しており、診療科別では、内科1,694人（3.8%）、小児科160人（10.1%）、眼科64人（13.6%）で減少し、外科68人（0.8%）、整形外科1,001人（16.3%）、産婦人科204人（11.7%）で増加している。

また、病床稼働率は、86.1%で、前年度に比較し0.9ポイント低下している。

外来患者数は、延べ83,928人で、前年度に比較し1,587人（1.9%）増加しており、診療科別では、内科で、183人（0.5%）、外科1,149人（9.5%）、産婦人科622人（13.4%）、小児科437人（7.9%）増加し、整形外科213人（1.4%）、眼科384人（6.9%）、耳鼻いんこう科207人（6.1%）で減少している。

表1 業務実績

区 分		平成29年度	平成28年度	対前年度増減	増減率 (%)	
入 院	延べ患者数(人)	62,523	63,168	△645	△1.0	
	診療科別	内 科	43,439	45,133	△1,694	△3.8
		外 科	8,180	8,112	68	0.8
		整 形 外 科	7,132	6,131	1,001	16.3
		産 婦 人 科	1,944	1,740	204	11.7
		小 児 科	1,421	1,581	△160	△10.1
		眼 科	407	471	△64	△13.6
		耳鼻いんこう科	0	0	0	0.0
	1日平均患者数(人)	171.3	173.1	△1.8	△1.0	
病床稼働率(%)	86.1	87.0	△0.9	△1.0		
外 来	延べ患者数(人)	83,928	82,341	1,587	1.9	
	診療科別	内 科	35,907	35,724	183	0.5
		外 科	13,299	12,150	1,149	9.5
		整 形 外 科	15,102	15,315	△213	△1.4
		産 婦 人 科	5,255	4,633	622	13.4
		小 児 科	5,992	5,555	437	7.9
		眼 科	5,206	5,590	△384	△6.9
		耳鼻いんこう科	3,167	3,374	△207	△6.1
	1日平均患者数(人)	344.0	338.9	5.1	1.5	

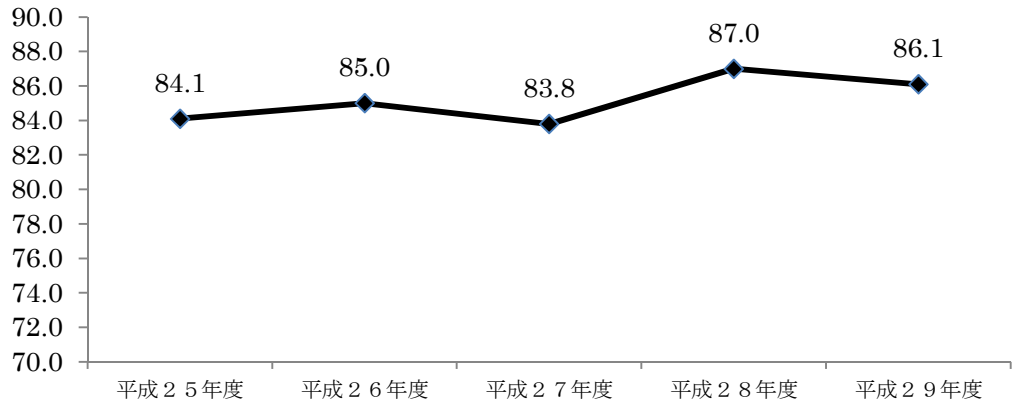
(注) 病床稼働率：入院患者数／延病床数×100

病 床 数：199床

平成29年度診療日数：入院 365日 外来 244日

平成28年度診療日数：入院 365日 外来 243日

図1 病床稼働率の推移 (%)



*病床稼働率：年間延べ入院患者数／年間延べ許可病床数×100

図2 1日平均入院患者数の推移 (人)

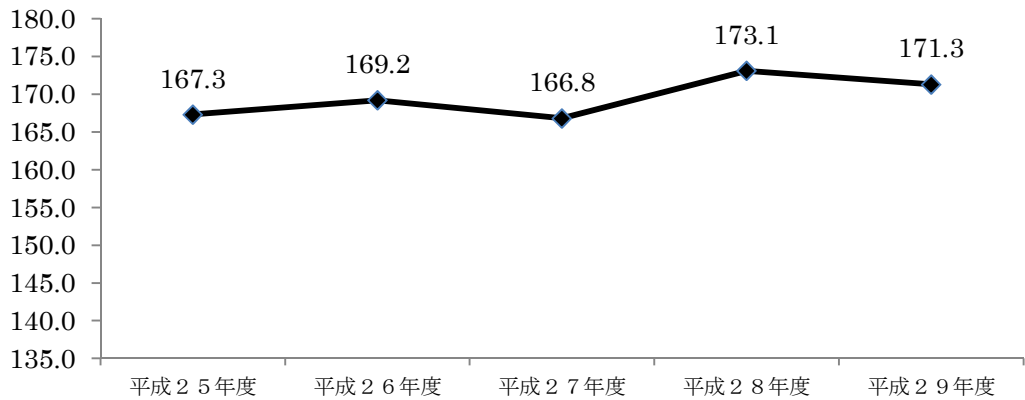
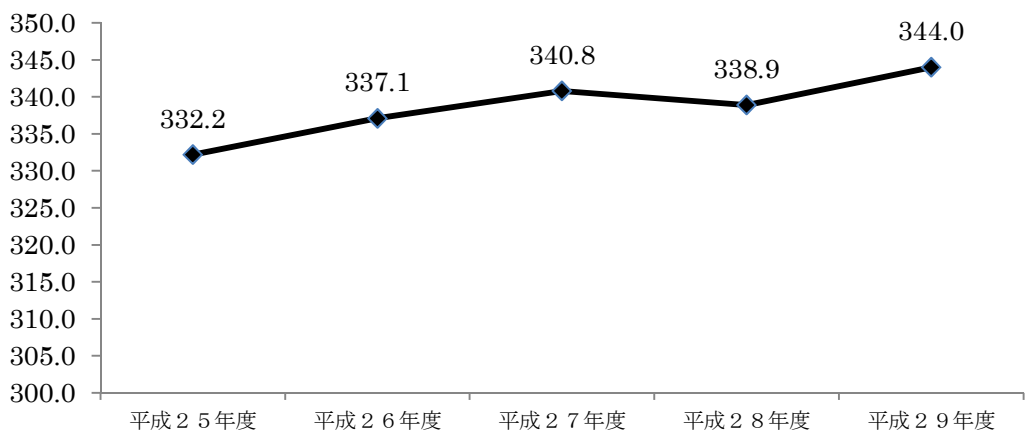


図3 1日平均外来患者数の推移 (人)



2 予算執行状況

(1) 収益的収入及び支出

ア 収益的収入

病院事業収益は、予算額48億7,223万円に対し決算額は49億9,450万円(収入割合102.5%)で、予算額に比べ1億2,226万円の増額である。

予算額に比べ増額となった主なものは、営業収益の入院収益8,252万円、外来収益1,229万円、その他営業収益1,919万円である。

表2 予算執行状況(収益的収入) (単位:円,%)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	収入割合
病 院 事 業 収 益	4,872,234,000	4,994,498,394	122,264,394	102.5
営 業 収 益	4,504,663,000	4,618,656,424	113,993,424	102.5
営 業 外 収 益	366,571,000	372,834,288	6,263,288	101.7
特 別 利 益	1,000,000	3,007,682	2,007,682	300.8

イ 収益的支出

病院事業費用は、予算額55億4,183万円に対し決算額は54億681万円(執行率97.6%)で、不用額は1億3,501万円である。

不用額の主なものは、営業費用の給与費3,445万円、材料費1,918万円、経費1,183万円及び営業外費用の雑損失2,777万円、特別損失の1,020万円、予備費の3,000万円である。

表3 予算執行状況(収益的支出) (単位:円,%)

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額	執 行 率
病 院 事 業 費 用	5,541,825,000	5,406,811,479	135,013,521	97.6
営 業 費 用	5,326,015,000	5,258,717,531	67,297,469	98.7
営 業 外 費 用	155,810,000	128,296,235	27,513,765	82.3
特 別 損 失	30,000,000	19,797,713	10,202,287	66.0
予 備 費	30,000,000	—	30,000,000	—

(2) 資本的収入及び支出

ア 資本的収入

資本的収入は、予算額5億2,803万円に対し決算額は2億3,683万円(収入割合44.9%)、予算額に比べ2億9,120万円の減額である。

予算額に比べ減額となったものは、企業債2億9,120万円である。

表4 予算執行状況（資本的収入）

（単位：円，％）

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	収入割合
資 本 的 収 入	528,033,000	236,834,000	△291,199,000	44.9
企 業 債	338,700,000	47,500,000	△291,200,000	14.0
出 資 金	187,032,000	187,033,000	1,000	100.0
補 助 金	1,781,000	1,781,000	0	100.0
寄 附 金	520,000	520,000	0	100.0

イ 資本的支出

資本的支出は、予算額9億9,869万円に対し決算額は6億9,563万円（執行率69.7%）、翌年度繰越額は2億4,900万円で、不用額は5,405万円である。

不用額は、建設改良費4,701万円と投資704万円で、翌年度繰越額は、資産購入費である。

資本的収入額が資本的支出額に不足する額4億5,880万円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額354万円、過年度分損益勘定留保資金4億5,526万円で補填している。

表5 予算執行状況（資本的支出）

（単位：円，％）

区 分	予 算 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
資 本 的 支 出	998,687,000	695,634,963	249,000,485	54,051,552	69.7
建 設 改 良 費	343,798,000	47,783,368	249,000,485	47,014,147	13.9
企 業 債 償 還 金	351,288,000	351,287,045		955	100.0
他 会 計 か ら の 長期借入金償還金	291,300,000	291,300,000		0	100.0
投 資	10,000,000	2,963,550		7,036,450	29.6
基 金 造 成 費	2,301,000	2,301,000		0	100.0

表6 建設改良費の概要

（単位：千円）

区 分	内 容	所 属	金 額
工 事	外来棟エレベーター改修工事	-----	5,184
器 械 備 品 購 入	超音波システム	外科	1,296
	検診台	産婦人科	2,160
	内視鏡用カメラヘッド	産婦人科	2,946
	内視鏡用カメラヘッド	中央材料・手術室	1,901
	X線テレビシステム	中央材料・手術室	6,804
	超音波画像診断装置	中央材料・手術室	2,646
	血糖検査システム	臨床検査科	7,819
	生化学自動分析装置	臨床検査科	4,028
	超音波画像診断装置	外来	3,456
	防犯カメラ一式	総務課	3,067

3 経営成績

(1) 病院事業収益

病院事業収益は、決算額 49 億 5,890 万円で、前年度に比較し 5,176 万円 (1.1%) 増加している。

ア 営業収益

営業収益は、決算額 45 億 8,829 万円で、前年度に比較し 7,648 万円 (1.7%) 増加しているが、これは主に入院収益、外来収益、その他営業収益が増加したことによるものである。

イ 営業外収益

営業外収益は、決算額 3 億 6,761 万円で、前年度に比較し 2,675 万円 (6.8%) 減少しているが、これは主に他会計負担金・補助金の減少によるものである。

ウ 特別利益

特別利益は、決算額 300 万円で、給与費の返還が主なものである。

(2) 病院事業費用

病院事業費用は、決算額 54 億 426 万円で、前年度に比較し 2 億 507 万円 (3.9%) 増加している。

ア 営業費用

営業費用は、決算額 51 億 6,572 万円で、前年度に比較し 2 億 109 万円 (4.1%) 増加しているが、これは主に医師や研修医師等による給与費の増加と電子カルテに関連するシステムの増設・延長による委託料が増加したものである。

イ 営業外費用

営業外費用は、決算額 2 億 1,883 万円で、前年度に比較し 519 万円 (2.3%) 減少しているが、これは主に、企業債利息の減少によるものである。

ウ 特別損失

特別損失は、決算額 1,971 万円である。

これは主に、診療報酬の過年度損益修正分と過年度調定の減額分である。

(3) 当年度純損益

病院事業収益から病院事業費用を差し引いた当年度純損失は 4 億 4,536 万円である。

前年度繰越欠損金 115 億 3,692 万円に当年度純損失を加えた当年度未処理欠損金は、119 億 8,228 万円である。

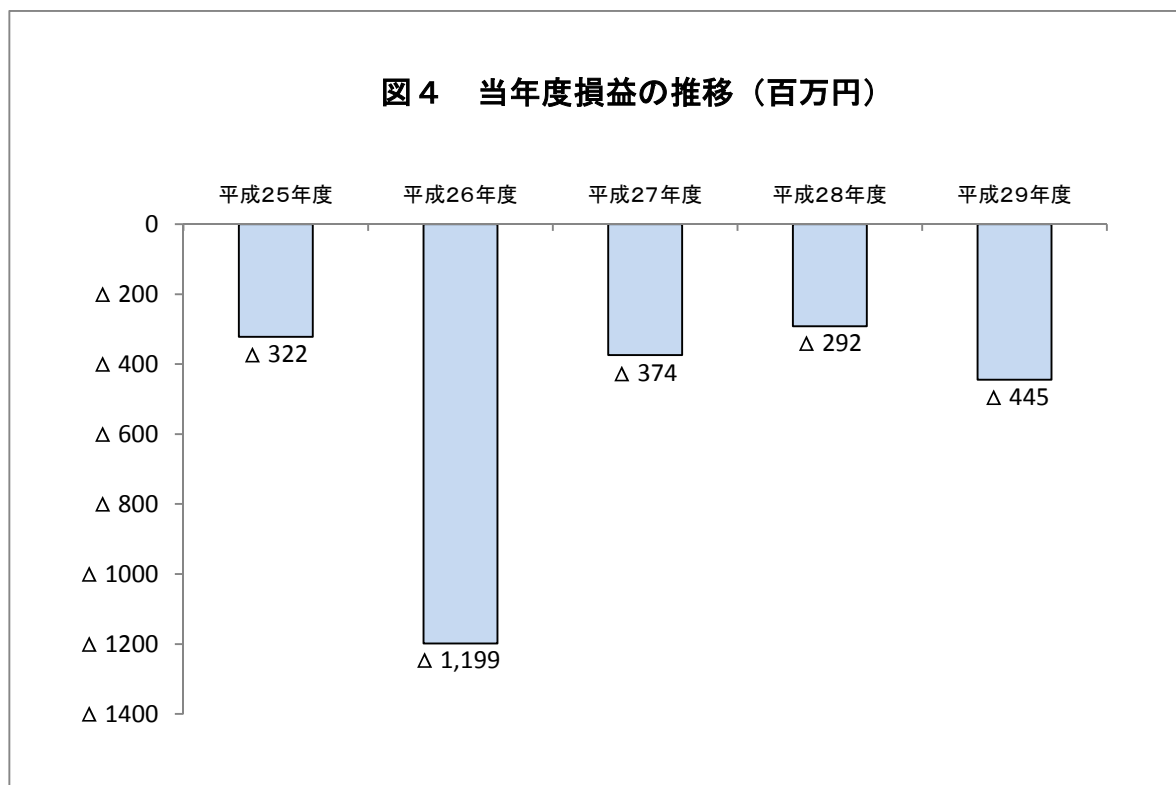
表7 損益の状況

(単位：円,%)

区 分	平成29年度	平成28年度	対前年度増減	増減率
病院事業収益	4,958,897,886	4,907,137,039	51,760,847	1.1
営業収益	4,588,289,627	4,511,808,568	76,481,059	1.7
入院収益	2,901,008,683	2,860,903,460	40,105,223	1.4
外来収益	1,057,043,745	1,023,198,487	33,845,258	3.3
その他営業収益	630,237,199	627,706,621	2,530,578	0.4
営業外収益	367,612,340	394,360,913	△26,748,573	△6.8
受取利息	8,682	33,687	△25,005	△74.2
他会計負担金・補助金	281,173,000	311,247,000	△30,074,000	△9.7
補助金	3,235,000	1,802,000	1,433,000	79.5
患者外給食収益	29,508	46,544	△17,036	△36.6
長期前受金戻入	4,357,970	5,035,000	△677,030	△13.4
その他営業外収益	78,808,180	76,196,682	2,611,498	3.4
特別利益	2,995,919	967,558	2,028,361	209.6
過年度損益修正益	2,995,919	967,558	2,028,361	209.6
病院事業費用	5,404,261,378	5,199,195,724	205,065,654	3.9
営業費用	5,165,719,178	4,964,625,787	201,093,391	4.1
給与費	3,015,101,007	2,844,141,731	170,959,276	6.0
材料費	808,808,191	815,159,606	△6,351,415	△0.8
経費	722,429,662	676,158,689	46,270,973	6.8
減価償却費	607,402,069	615,274,351	△7,872,282	△1.3
資産減耗費	806,000	4,068,988	△3,262,988	△80.2
研究研修費	11,172,249	9,822,422	1,349,827	13.7
営業外費用	218,833,524	224,025,812	△5,192,288	△2.3
支払利息及び企業債取扱諸費	103,676,692	108,361,114	△4,684,422	△4.3
患者外給食材料費	1,669,578	1,700,318	△30,740	△1.8
雑損失	113,487,254	113,964,380	△477,126	△0.4
特別損失	19,708,676	10,544,125	9,164,551	86.9
過年度損益修正損	19,708,676	10,544,125	9,164,551	86.9
営業利益	△577,429,551	△452,817,219	△124,612,332	27.5
経常利益	△428,650,735	△282,482,118	△146,168,617	51.7
当年度純損益	△445,363,492	△292,058,685	△153,304,807	52.5

(注) 損益計算書の収益合計は、仮払消費税及び地方消費税を含まず、かつ納税計算上の調整があるため、収益的収入決算額とは一致しない。また、損益計算書の費用合計は、仮払消費税及び地方消費税を含まず、かつ納税計算上の調整があるため、収益的支出決算額とは一致しない。

図4 当年度損益の推移（百万円）



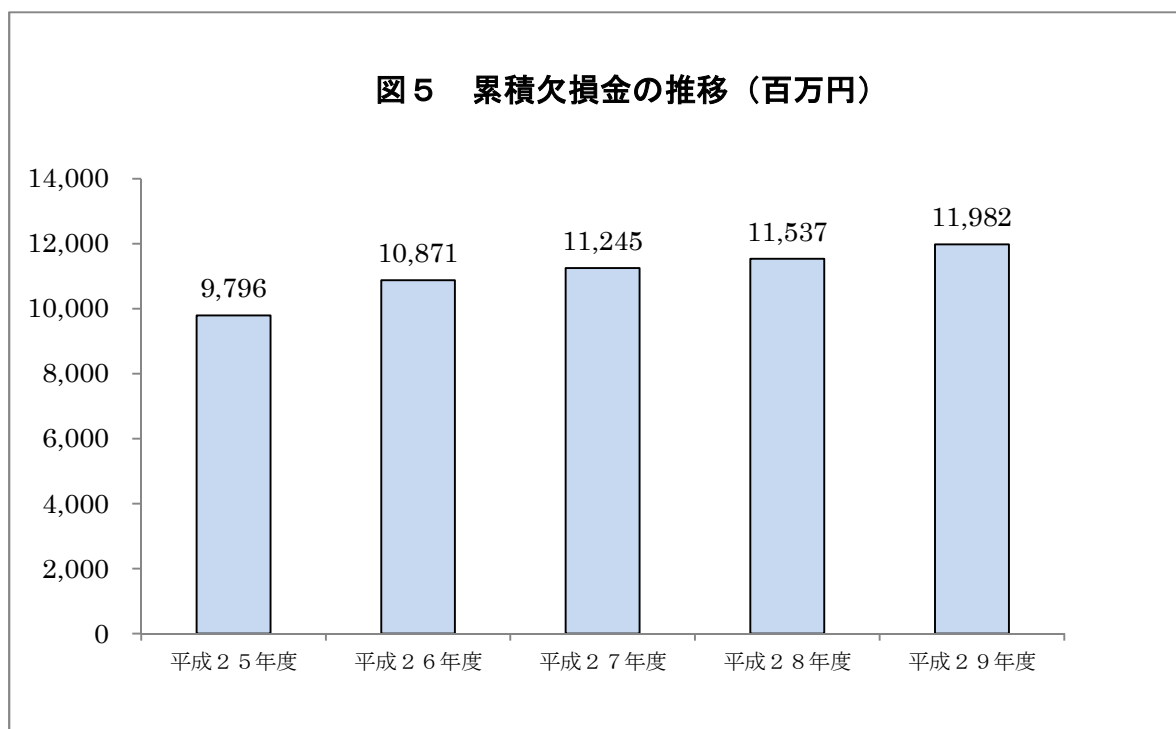
*平成26年度以降の数値は新会計基準により算出したものであり、平成25年度以前の数値と単純に比較することはできない。

表8 累積欠損金の推移

(単位：千円)

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
病院事業	9,796,092	10,871,279	11,244,860	11,536,919	11,982,283

図5 累積欠損金の推移（百万円）



4 財政状態

(1) 資産

資産は、62億9,924万円で、前年度に比較し4億8,818万円(7.2%)減少している。

固定資産は、52億9,254万円で、前年度に比較し5億7,504万円(9.8%)減少しているが、これは主に建物および器械備品の減価償却によるものである。

流動資産は、10億670万円で、前年度に比較し8,685万円(9.4%)増加しているが、これは主に現金預金と未収金が増加したことによるものである。

(2) 負債

負債は、108億9,696万円で、前年度に比較し2億2,985万円(2.1%)減少している。

固定負債は、97億2,420万円で、前年度に比較し2億4,292万円(2.4%)減少しているが、これは主に企業債の償還によるものである。

流動負債は、11億5,418万円で、前年度に比較し1,512万円(1.3%)増加しているが、これは主に他会計借入金が増加した事によるものである。

繰延収益は、1,858万円で、前年度に比較し206万円(10.0%)減少しているが、長期前受金収益化累計額が増加したことによるものである。

(3) 資本

資本は、△45億9,772万円で、前年度に比較し2億5,833万円(6.0%)が増加している。

剰余金は、△119億6,748万円で、前年度に比較し4億4,536万円(3.9%)欠損金が増加している。

表9 貸借対照表

(単位：円，%)

区 分	平成29年度	平成28年度	対前年度増減	増減率
資 産	6,299,243,433	6,787,427,233	△488,183,800	△7.2
固定資産	5,292,541,872	5,867,578,968	△575,037,096	△9.8
有形固定資産	5,238,332,886	5,802,297,095	△563,964,209	△9.7
土地	41,192,671	41,192,671	0	0.0
建物	4,748,739,642	5,157,863,385	△409,123,743	△7.9
器械備品	448,359,621	603,028,076	△154,668,455	△25.6
車両	40,952	212,963	△172,011	△80.8
投資	54,208,986	65,281,873	△11,072,887	△17.0
長期貸付金	17,169,233	30,543,120	△13,373,887	△43.8
基金	37,039,753	34,738,753	2,301,000	6.6
流動資産	1,006,701,561	919,848,265	86,853,296	9.4
現金・預金	322,252,488	295,262,260	26,990,228	9.1
未収金	693,457,016	637,958,720	55,498,296	8.7
貸倒引当金	△9,036,798	△13,401,570	4,364,772	△32.6
貯蔵品	28,855	28,855	0	0.0
負債・資本合計	6,299,243,433	6,787,427,233	△488,183,800	△7.2
負債	10,896,960,894	11,126,814,202	△229,853,308	△2.1
固定負債	9,724,204,766	9,967,120,714	△242,915,948	△2.4
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	5,839,384,233	6,103,129,622	△263,745,389	△4.3
他会計借入金	3,092,210,000	3,092,610,000	△400,000	△0.0
退職給付引当金	792,610,533	771,381,092	21,229,441	2.8
流動負債	1,154,177,730	1,139,058,120	15,119,610	1.3
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	311,245,389	351,287,045	△40,041,656	△11.4
他会計借入金	340,400,000	291,300,000	49,100,000	16.9
未払金	314,355,797	318,497,020	△4,141,223	△1.3
賞与引当金	156,908,433	157,130,713	△222,280	△0.1
その他流動負債	31,268,111	20,843,342	10,424,769	50.0
繰延収益	18,578,398	20,635,368	△2,056,970	△10.0
長期前受金	57,409,457	55,108,457	2,301,000	4.2
長期前受金収益 化 累 計 額	△38,831,059	△34,473,089	△4,357,970	12.6
資本	△4,597,717,461	△4,339,386,969	△258,330,492	6.0
資本金	7,369,765,307	7,182,732,307	187,033,000	2.6
剰余金	△11,967,482,768	△11,522,119,276	△445,363,492	3.9
資本剰余金	14,800,000	14,800,000	0	0.0
受贈資産寄附金	14,800,000	14,800,000	0	0.0
利益剰余金	△11,982,282,768	△11,536,919,276	△445,363,492	3.9
当年度未処理欠損金	11,982,282,768	11,536,919,276	445,363,492	3.9

(注) 有形固定資産のうち、償却資産については直接控除方式によって表示している。

29年度減価償却累計額 … 建物3,331,939,456円，器械備品1,375,146,037円，車両172,011円

28年度減価償却累計額 … 建物2,918,015,713円，器械備品1,197,153,722円

【企業債及び長期借入金の推移】

企業債の推移は、表 1 0 並びに図 6、長期借入金の推移は表 1 1 並びに図 7 のとおりである。

表 1 0 企業債の推移

(単位：千円)

区 分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
発行額	30,000	40,000	144,200	81,800	47,500
償還額	263,177	328,029	342,550	370,602	351,287
残 高	7,229,598	6,941,569	6,743,219	6,454,417	6,150,630

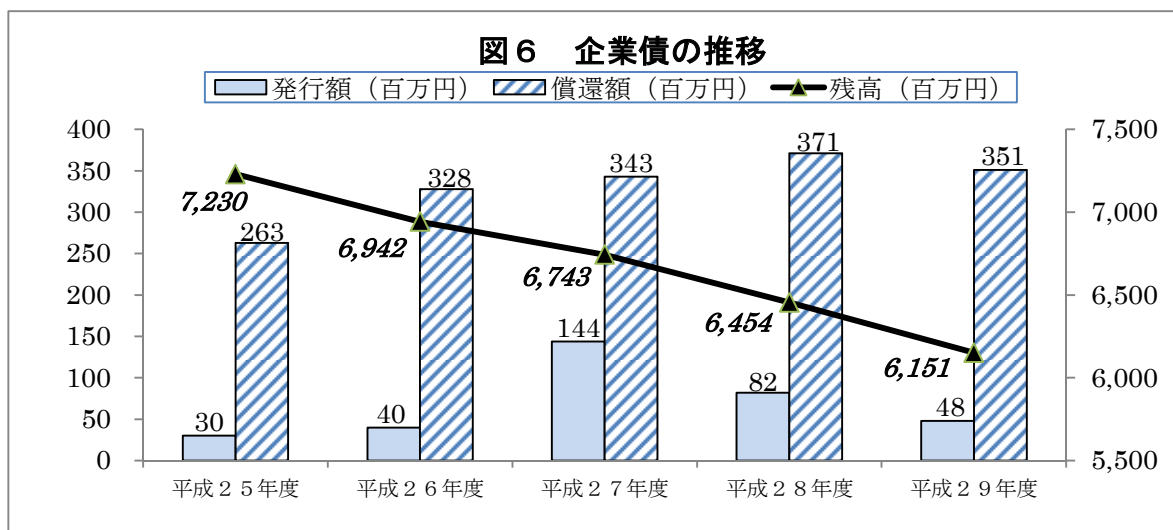
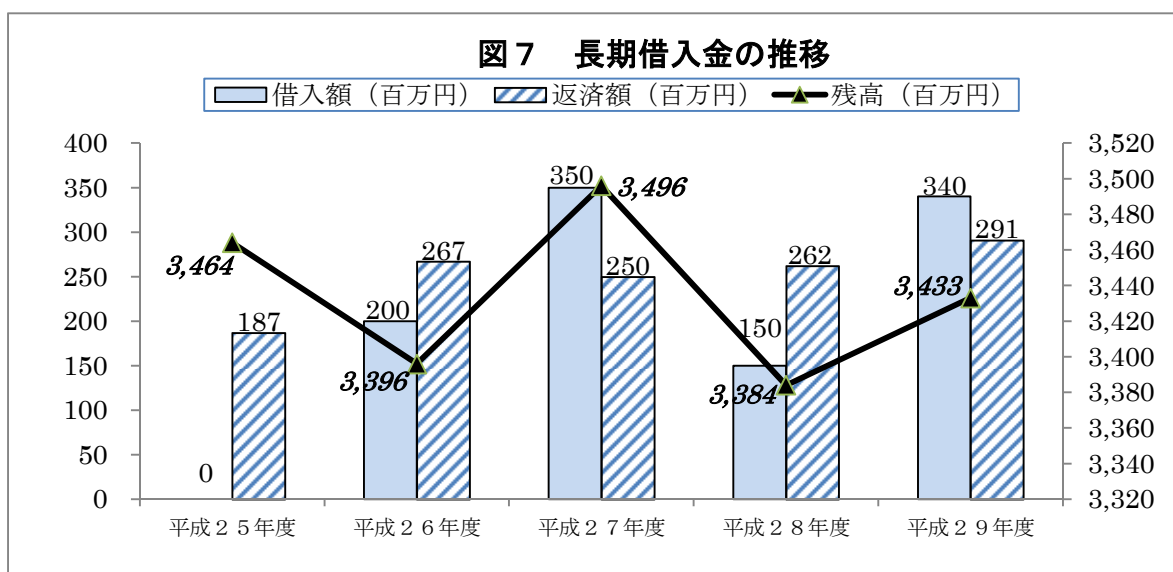


表 1 1 長期借入金の推移

(単位：千円)

区 分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
借入額	0	200,000	350,000	150,000	340,000
返済額	186,700	267,300	250,100	262,300	291,300
残 高	3,463,610	3,396,310	3,496,210	3,383,910	3,432,610



(4) 資金収支

業務活動によるキャッシュ・フローは、1億4,225万円で、前年度に比較し給与費が増加したことなどにより1億7,557万円減少している。投資活動によるキャッシュ・フローは、△4,721万円で、前年度に比較し有形固定資産の取得による支出が減少したことなどにより3,624万円増加している。財務活動によるキャッシュ・フローは、△6,805万円で、前年度に比較し建設改良費の財源に充てるための企業債による収入が減少し、その他の他会計借入金による収入が増加したことなどにより、1億3,677万円減少している。

この結果、当年度は2,699万円の資金が増加し、資金期末残高は3億2,225万円となっている。

表12 キャッシュ・フロー計算書

(単位：円)

区 分	平成29年度	平成28年度	対前年度増減
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益	△445,363,492	△292,058,685	△153,304,807
減価償却費	607,402,069	615,274,351	△7,872,282
引当金の増減額 (△は減少)	16,642,389	58,734,707	△42,092,318
長期前受金戻入額	△4,357,970	△5,035,000	677,030
受取利息及び受取配当金	△8,682	△33,687	25,005
支払利息	103,676,692	108,361,114	△4,684,422
未収金の増減額 (△は増加)	△55,498,296	16,539,124	△72,037,420
未払金の増減額 (△は減少)	△4,141,223	△74,513,125	70,371,902
預り金の増減額 (△は減少)	10,424,769	△5,190,080	15,614,849
その他	17,143,437	4,068,988	13,074,449
小計	245,919,693	426,147,707	△180,228,014
利息及び配当金の受取額	8,682	33,687	△25,005
利息の支払額	△103,676,692	△108,361,114	4,684,422
業務活動によるキャッシュ・フロー	142,251,683	317,820,280	△175,568,597
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△44,243,860	△77,152,576	32,908,716
貸付による支出及び投資返還金	△2,963,550	△6,293,565	3,330,015
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47,207,410	△83,446,141	36,238,731
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	47,500,000	81,800,000	△34,300,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△351,287,045	△370,602,407	19,315,362
その他の他会計借入金による収入	340,000,000	150,000,000	190,000,000
その他の他会計借入金の返済による支出	△291,300,000	△262,300,000	△29,000,000
他会計からの出資による収入	187,033,000	196,275,000	△9,242,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△68,054,045	△204,827,407	136,773,362
資金増減額	26,990,228	29,546,732	△2,556,504
資金期首残高	295,262,260	265,715,528	29,546,732
資金期末残高	322,252,488	295,262,260	26,990,228

(注) キャッシュ・フロー計算書は、一会計期間における現金等(現金預金)の増減を、業務活動、投資活動及び財務活動に分けて表示したものである。

5 経営指標

(1) 経営の健全性及び効率性

ア 営業収支比率

この指標は、経常収支比率とともに病院の収益性を見る代表的指標である。営業費用が営業収益で賄われるか、また、どの程度の収益率をあげているかを見るもので、これが100%未満の場合は営業費用を営業収益で賄えないことになり経営は健全でないことになる。

営業収支比率の推移

(単位：%)

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
芦屋市	94.6	94.7	90.3	90.9	88.8
類似団体平均値	86.3	85.0	84.8	83.6	

(注) 1 営業収支比率：営業収益／営業費用×100

2 類似団体平均値は、兵庫県より公表されている「新公立病院改革プランに基づく取り組みについて・経営分析比較表」(病床数100床以上200床未満)の数値を引用している。
平成29年度の数値については、未発表(以下同様)。

イ 経常収支比率

この指標は、営業費用、営業外費用に対する営業収益、営業外収益の割合を表し、通常の間院活動による収益状況を表す指標である。100%以上の場合は単年度黒字を、100%未満の場合は単年度赤字を表す。

経常収支比率の推移

(単位：%)

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
芦屋市	93.9	93.5	93.0	94.6	92.0
類似団体平均値	96.1	96.7	98.1	96.4	

(注) 経常収支比率：経常収益／経常費用×100

ウ 累積欠損金比率

この指標は、各事業年度において発生した損失(赤字)額を未処理欠損金として振り替えたもののうち、繰越利益剰余金等で補てんできなかつたものの累積された赤字である。したがって、この比率が高いほど、単年度の営業収益に比べて累積欠損金が多いということになる。

累積欠損金比率の推移

(単位：%)

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
芦屋市	234.4	250.3	256.3	255.7	261.1

(注) 累積欠損金比率：当年度未処理欠損金／営業収益×100

エ 資金不足比率

この指標は、地方財政健全化法に基づき、各公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示すものである。

資金不足比率の推移

(単位：%)

区 分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
芦屋市	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(注) 資金不足比率：(流動負債＋建設改良費等以外の経費の財源等に充てるために起こした地方債の現在高－流動資産)／事業規模(営業収益)

(2) 収入確保・経費節減

ア 病床稼働率

この指標は、病院が提供することのできる病床を利用者である入院患者がどの程度利用したかを示すものであり、収益に関する分析の上で、極めて重要な指標である。

病床稼働率の推移

(単位：%)

区 分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
芦屋市	84.1	85.0	83.8	87.0	86.1
類似団体平均値	67.1	66.7	68.2	69.9	

(注) 病床稼働率：年間延べ入院患者数／年間延べ許可病床数×100

イ 患者1人1日あたり入院収益

この指標は、病院の医療機能レベルを端的に表現するほか、受診患者の疾病程度を示すものである。

患者1人1日あたり入院収益の推移

(単位：千円)

区 分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
芦屋市	43.3	44.5	45.1	45.3	46.4
類似団体平均値	29.8	30.3	31.0	31.0	

(注) 患者1人1日あたり入院収益：入院収益／年間延べ入院患者数

ウ 患者1人1日あたり外来収益

患者1人1日あたり外来収益の推移

(単位：千円)

区 分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
芦屋市	11.5	11.9	12.2	12.4	12.6
類似団体平均値	9.0	9.2	9.5	9.0	

(注) 患者1人1日あたり外来収益の推移：外来収益／年間延べ外来患者数

エ 病床 100 床あたり職員数

病床 100 床あたり職員数の推移

(単位：人)

区 分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
芦屋市	121.4	133.8	138.8	137.2	138.2
類似団体平均値	105.4	107.5	108.7	109.9	

(注) 病床 100 床あたり職員数：年度末職員数／年度末病床数
職員数には臨時職員及び嘱託職員を含む

オ 患者紹介率

患者紹介率の推移

(単位：%)

区 分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
芦屋市	62.2	71.5	40.4	41.0	41.6

(注) 患者紹介率：文書紹介された患者数及び救急搬送された患者数／初診患者数

カ 平均在院日数

平均在院日数の推移

(単位：日)

区 分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
芦屋市	16.4	14.9	14.0	14.2	13.1
類似団体平均値	20.6	20.3	20.2	19.8	

(注) 平均在院日数：年間延べ在院患者数／(年度中の新入院患者数＋退院患者数) × 1/2

キ 薬品使用効率

この指標は、薬品の購入及び使用に伴う収支の状況及び安価での購入努力の度合いを示す数値であり、この比率は高いほど良い。

薬品使用効率の推移

(単位：%)

区 分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
芦屋市	82.0	63.2	68.6	62.6	63.3
類似団体平均値	112.0	110.3	116.6	110.4	

(注) 薬品使用効率：薬品収入／薬品払出原価 × 100

以上が病院事業会計の決算状況である。

6 審査のまとめ

(1) 決算の総括

市立芦屋病院における平成 29 年度決算について見ると、業務実績においては、入院患者は、延べ 62,523 人で、前年度よりも 645 人 (1.0%) 減少し、病床稼働率も 86.1%と、前年度よりも 0.9 ポイント減少している。しかし、外来患者数は延べ 83,928 人で、前年度よりも 1,587 人 (1.9%) 増加しており、入院、外来患者数ともに平成 25 年度以降、概ね横ばいの推移となっている。

経営状況について見ると、本業の経営成績である営業損益は、営業損失が 5 億 7,743 万円で昨年度より 1 億 2,461 万円増加した。また、経常損益も、経常損失が 4 億 2,865 万円と昨年度より 1 億 4,617 万円増加し、これらの結果、当年度純損失は 4 億 4,536 万円となり、累積欠損金は 119 億 8,228 万円と昨年度末より増えた結果となっている。

経営指標について見ると、特に重要な指標である営業収支比率はやや悪化する傾向にあり、病床稼働率は、過去 5 年間、概ね横ばいとなっている。

資金繰りについて見ると、平成 29 年度においても一般会計からの 3 億 4 千万円の長期借入金により資金不足は生じていないが、依然として厳しい状況にある。

(2) 意見

平成 29 年度の芦屋病院においては、平成 29 年 3 月に策定された「市立芦屋病院新改革プラン (平成 29 年度～平成 33 年度)」に基づき、診療機能の充実等の経営改革が取り組まれた。具体的には、外科系救急の拡大、機能分化の推進による逆紹介率の向上、医師並びに医療専門事務員の新規配置や増員による体制強化、専門資格を持った看護師の育成、早期診療対応を図るための心不全チームや認知症ケアチームの発足並びに休日特定健康診査実施による診療機能の充実等である。

なお、コスト削減に向けてはジェネリック医薬品の有効活用の取り組みにおいて大きな成果を上げたほか、診療材料費削減においても組織的な取り組みにより削減目標を上回る結果となった。

しかし、経営自体は病院建替えの際に借り入れた多額の企業債の償還が本格化していることもあって厳しい状況にあり、平成 29 年度も純損失を計上し、累積欠損金が増加することとなった。

そこで、芦屋病院に対しては、芦屋病院と同規模の公立病院の経営指標も参考にし、平成 29 年度の経営指標で同 28 年度よりも悪化しているものについてはその悪化の原因を分析し、今後の経営改善にあたられるよう望むものである。

言うまでもなく、芦屋病院は本市の中核病院であり、地域にとって必要とされる病院であることから、今後とも引き続き、経営改革を進めながら、診療体制及び診療機能の充実に取り組まれない。

以 上

決 算 審 査 資 料
(病 院 事 業 会 計)

第 1 表	業務実績表	・ ・ ・ ・ ・	27
第 2 表	損益計算書年度比較表	・ ・ ・ ・ ・	28
第 3 表	貸借対照表年度比較表	・ ・ ・ ・ ・	30

第 1 表 業 務 実 績 表

区 分		平成29年度	平成28年度	対前年度増減	増減率	備 考	
病床稼働率(%)		86.1	87.0	△ 0.9	—	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数(実働可能病床数)}}$	
平均在院日数(日)		13.1	14.2	△ 1.1	△ 7.8	※欄外参照	
1日平均患者数(人)	入 院	171.3	173.1	△ 1.8	△ 1.0	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{入院診療日数}}$	
	外 来	344.0	338.9	5.1	1.5	$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{外来診療日数}}$	
外来入院患者比率(%)		134.2	130.4	3.8	—	$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延入院患者数}}$	
職員1人1日当たり患者数(人)	医 師	入 院	2.9	3.9	△ 1.0	△ 25.6	(入院) $\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延職員数}}$
		外 来	3.9	5.1	△ 1.2	△ 23.5	
	看護部門	入 院	1.0	0.9	0.1	11.1	(外来) $\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延職員数}}$
		外 来	1.3	1.2	0.1	8.3	
患者1人1日当たり診療収入(円)	入 院	46,399	45,290	1,109	2.5	$\frac{\text{入院収益}}{\text{年延入院患者数}}$	
	外 来	12,595	12,426	169	1.4	$\frac{\text{外来収益}}{\text{年延外来患者数}}$	
100床当たり職員数(人)	医 師	21.7	19.1	2.6	13.6	$\frac{\text{年度末職員数}}{\text{年度末病床数(実働可能病床数)}} \times 100$	
	看護部門	76.8	80.6	△ 3.8	△ 4.7		
	給食部門	1.0	1.0	0.0	0.0		
	事務部門	21.9	19.8	2.1	10.6		
	その他	16.8	16.6	0.2	1.2		
	全職員	138.2	137.2	1.0	0.7		
職員給与費対営業収益比率(%)		47.5	46.7	0.8	—	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{営業収益}}$	
薬品費対営業収益比率(%)		9.5	9.6	△ 0.1	—	$\frac{\text{薬品費}}{\text{営業収益}}$	

※ 平均在院日数 = 当年度中延べ在院患者数 / (当年度中の新入院患者数 + 当年度中の退院患者数) × 1 / 2

(注) 1 職員給与費には、賃金等は含んでいません。

2 単位が%の場合、比率の数値は、各算式 × 100 である。

第 2 表 損 益 計 算 書 年 度 比 較 表

病院事業

区 分	借		方	
	平成 2 9 年度	平成 2 8 年度	増 減 額	対前年 度比率
	金 額	金 額		
	円	円	円	%
1 営業費用	5,165,719,178	4,964,625,787	201,093,391	104.1
(1) 給与費	3,015,101,007	2,844,141,731	170,959,276	106.0
(2) 材料費	808,808,191	815,159,606	△ 6,351,415	99.2
(3) 経費	722,429,662	676,158,689	46,270,973	106.8
(4) 減価償却費	607,402,069	615,274,351	△ 7,872,282	98.7
(5) 資産減耗費	806,000	4,068,988	△ 3,262,988	19.8
(6) 研究研修費	11,172,249	9,822,422	1,349,827	113.7
2 営業外費用	218,833,524	224,025,812	△ 5,192,288	97.7
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	103,676,692	108,361,114	△ 4,684,422	95.7
(2) 患者外給食材料費	1,669,578	1,700,318	△ 30,740	98.2
(3) 雑損失	113,487,254	113,964,380	△ 477,126	99.6
3 特別損失	19,708,676	10,544,125	9,164,551	186.9
(1) 過年度損益修正損	19,708,676	10,544,125	9,164,551	186.9
合 計	5,404,261,378	5,199,195,724	205,065,654	103.9

貸 方				
区 分	平成29年度	平成28年度	増 減 額	対前年 度比率
	金 額	金 額		
	円	円	円	%
1 営業収益	4,588,289,627	4,511,808,568	76,481,059	101.7
(1) 入院収益	2,901,008,683	2,860,903,460	40,105,223	101.4
(2) 外来収益	1,057,043,745	1,023,198,487	33,845,258	103.3
(3) その他営業収益	630,237,199	627,706,621	2,530,578	100.4
2 営業外収益	367,612,340	394,360,913	△ 26,748,573	93.2
(1) 受取利息	8,682	33,687	△ 25,005	25.8
(2) 他会計負担金・補助金	281,173,000	311,247,000	△ 30,074,000	90.3
(3) 補助金	3,235,000	1,802,000	1,433,000	179.5
(4) 患者外給食収益	29,508	46,544	△ 17,036	63.4
(5) 長期前受金戻入	4,357,970	5,035,000	△ 677,030	86.6
(6) その他営業外収益	78,808,180	76,196,682	2,611,498	103.4
3 特別利益	2,995,919	967,558	2,028,361	309.6
(1) 過年度損益修正益	2,995,919	967,558	2,028,361	309.6
当年度純損失	445,363,492	292,058,685	153,304,807	152.5
合 計	5,404,261,378	5,199,195,724	205,065,654	103.9

第 3 表 貸借対照表年度比較表

病院事業

区 分	借		方		増 減 額	対前年 度比率
	平成 2 9 年度		平成 2 8 年度			
	金 額	構 成 比 率	金 額	構 成 比 率		
	円	%	円	%	円	%
1 固定資産	5,292,541,872	84.0	5,867,578,968	86.4	△ 575,037,096	90.2
(1) 有形固定資産	5,238,332,886	83.1	5,802,297,095	85.5	△ 563,964,209	90.3
ア 土地	41,192,671	0.7	41,192,671	0.6	0	100.0
イ 建物	4,748,739,642	75.3	5,157,863,385	76.0	△ 409,123,743	92.1
ウ 器械備品	448,359,621	7.1	603,028,076	8.9	△ 154,668,455	74.4
エ 車両	40,952	0.0	212,963	0.0	△ 172,011	19.2
(2) 投資	54,208,986	0.9	65,281,873	0.9	△ 11,072,887	83.0
ア 長期貸付金	17,169,233	0.3	30,543,120	0.4	△ 13,373,887	56.2
イ 基金	37,039,753	0.6	34,738,753	0.5	2,301,000	106.6
2 流動資産	1,006,701,561	16.0	919,848,265	13.6	86,853,296	109.4
(1) 現金・預金	322,252,488	5.1	295,262,260	4.4	26,990,228	109.1
(2) 未収金	693,457,016	11.0	637,958,720	9.4	55,498,296	108.7
(3) 貸倒引当金	△ 9,036,798	△ 0.1	△ 13,401,570	△ 0.2	4,364,772	67.4
(4) 貯蔵品	28,855	0.0	28,855	0.0	0	100.0
資産合計	6,299,243,433	100.0	6,787,427,233	100.0	△ 488,183,800	92.8

(注) 有形固定資産のうち、償却資産については直接控除方式によって表示している。

29年度減価償却累計額：イ建物3,331,939,456円，ウ器械備品1,375,146,037円，エ車両172,011円
 28年度減価償却累計額：イ建物2,918,015,713円，ウ器械備品1,197,153,722円

貸 方						
区 分	平成29年度		平成28年度		増 減 額	対前年 度比率
	金 額	構 成 比 率	金 額	構 成 比 率		
	円	%	円	%	円	%
1 固定負債	9,724,204,766	154.4	9,967,120,714	146.9	△ 242,915,948	97.6
(1) 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	5,839,384,233	92.7	6,103,129,622	89.9	△ 263,745,389	95.7
(2) 他会計借入金	3,092,210,000	49.1	3,092,610,000	45.6	△ 400,000	100.0
(3) 退職給与引当金	792,610,533	12.6	771,381,092	11.4	21,229,441	102.8
2 流動負債	1,154,177,730	18.3	1,139,058,120	16.8	15,119,610	101.3
(1) 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	311,245,389	4.9	351,287,045	5.2	△ 40,041,656	88.6
(2) 他会計借入金	340,400,000	5.4	291,300,000	4.3	49,100,000	116.9
(3) 未払金	314,355,797	5.0	318,497,020	4.7	△ 4,141,223	98.7
(4) 賞与引当金	156,908,433	2.5	157,130,713	2.3	△ 222,280	99.9
(5) その他流動負債	31,268,111	0.5	20,843,342	0.3	10,424,769	150.0
3 繰延収益	18,578,398	0.3	20,635,368	0.3	△ 2,056,970	90.0
(1) 長期前受金	57,409,457	0.9	55,108,457	0.8	2,301,000	104.2
(2) 長期前受金収益化累計額	△ 38,831,059	△ 0.6	△ 34,473,089	△ 0.5	△ 4,357,970	112.6
負 債 計	10,896,960,894	173.0	11,126,814,202	164.0	△ 229,853,308	97.9
1 資本金	7,369,765,307	117.0	7,182,732,307	105.8	187,033,000	102.6
2 剰余金	△ 11,967,482,768	△ 190.0	△ 11,522,119,276	△ 169.8	△ 445,363,492	103.9
(1) 資本剰余金	14,800,000	0.2	14,800,000	0.2	0	100.0
ア 受贈財産寄附金	14,800,000	0.2	14,800,000	0.2	0	100.0
(2) 利益剰余金	△ 11,982,282,768	△ 190.2	△ 11,536,919,276	△ 170.0	△ 445,363,492	103.9
ア 当年度未処理欠損金	11,982,282,768	190.2	11,536,919,276	170.0	445,363,492	103.9
資 本 計	△ 4,597,717,461	△ 73.0	△ 4,339,386,969	△ 64.0	△ 258,330,492	106.0
負債・資本合計	6,299,243,433	100.0	6,787,427,233	100.0	△ 488,183,800	92.8

